MJ 小6国語 確認テスト①

かなづかい・送りがな

名前	
得点	
	／100

1 次の各組のことばのうち、かなづかいの正しい方をそれぞれ選びなさい。（各2点）

(1) ア おおぎ　イ おうぎ

(2) ア もようし　イ もよおし

(3) ア みそづけ　イ みそずけ

(4) ア はなぢ　イ はなじ

(5) ア 川ずたい　イ 川づたい

2 次の漢字の読みがなを、かなづかいに注意して書きなさい。（各3点）

(1) 往来（　　）　(2) 底力（　　）

(3) 図画（　　）　(4) 難しい（　　しい）

(5) 築く（　　く）　(6) 縮む（　　む）

(7) 預ける（　　ける）　(8) 味わう（　　わう）

3 次の各組のことばのうち、送りがなの正しい方をそれぞれ選びなさい。（各2点）

(1) ア 群らがる　イ 群がる

(2) ア 健やか　イ 健か

(3) ア 潔よい　イ 潔い

(4) ア 再たび　イ 再び

(5) ア 省りみる　イ 省みる

4 次の――線部の語の送りがなが正しければ○、まちがっていれば×を書きなさい。（各3点）

(1) 辺りが暗くなる（　　）　(2) 勇しい人に出会う（　　）

(3) 畑を耕やす（　　）　(4) 自ら申し出る（　　）

(5) 必らず行く（　　）　(6) 合い図を送る（　　）

(7) 道路が交わる（　　）　(8) 山の頂きに登る（　　）

5 次の――線部のひらがなを、漢字と送りがなで書きなさい。（各4点）

(1) 彼女はほおをあからめた。（　　）

(2) この仕事には多くの時間をついやした。（　　）

(3) 水位がいちじるしく低下した。（　　）

(4) ねらいがはずれる。（　　）

(5) 日一日と寒さがやわらぐ。（　　）

(6) たぬきやきつねは人にばけるという。（　　）

(7) 注文をうけたまわる。（　　）

(8) 実家は酒屋をいとなんでおります。（　　）

MJ 小6国語 確認テスト②

漢字の成り立ち・部首

名前
とく点
／100

1 次の各組のうち、成り立ちが他の三つとは異なるものを、それぞれ選びなさい。（各4点）

(1) 〔ア 鳴 イ 河 ウ 頭 エ 花〕
(2) 〔ア 川 イ 休 ウ 目 エ 月〕
(3) 〔ア 上 イ 山 ウ 末 エ 下〕
(4) 〔ア 林 イ 岩 ウ 森 エ 泳〕

2 次の漢字を二つずつ組み合わせて、会意文字を四つ作りなさい。（各4点）

〔 火 心 日 亡 子 然 系 月 〕

3 次の形声文字について、例にならって、意味を表す部分を上に、音を表す部分を下に、それぞれ書き分けなさい。（各4点）（完答）

【例】飯……

食
反

(1) 球……

(2) 悲……

(3) 個……

(4) 粉……

4 次の漢字の部首と部首名を、例にならって書きなさい。（各4点）（完答）

【例】花（艹）〔くさかんむり〕

(1) 無（　）〔　　〕
(2) 医（　）〔　　〕
(3) 雑（　）〔　　〕
(4) 発（　）〔　　〕
(5) 歌（　）〔　　〕
(6) 動（　）〔　　〕
(7) 断（　）〔　　〕
(8) 京（　）〔　　〕

5 次の各組の中には、他と部首の異なるものが一つずつふくまれています。それらを選びなさい。（各5点）

(1) 〔ア 間 イ 開 ウ 関 エ 問〕
(2) 〔ア 制 イ 刷 ウ 測 エ 判〕
(3) 〔ア 回 イ 器 ウ 味 エ 史〕
(4) 〔ア 楽 イ 機 ウ 休 エ 査〕

MJ 小6国語 確認テスト③

漢字の画数・筆順

名前
得点
／100

1 次の漢字の総画数を書きなさい。（各4点）

(1) 返（　　画）　(2) 姿（　　画）　(3) 郡（　　画）

(4) 輸（　　画）　(5) 衆（　　画）　(6) 開（　　画）

2 例にならって、次の漢字の部首と、部首をのぞいた残りの部分の画数を書きなさい。（各4点）

【例】花（艹　）（　4　画）

(1) 教（　　）（　　画）　(2) 混（　　）（　　画）

(3) 遠（　　）（　　画）　(4) 球（　　）（　　画）

(5) 熟（　　）（　　画）　(6) 妻（　　）（　　画）

3 次の各組の漢字を漢和辞典の総画索引で調べたところ、同じ画数のところにのっていないものが一つずつふくまれていました。それらを選びなさい。（各4点）

(1)〔ア 場　イ 備　ウ 側　エ 富　オ 遊〕

(2)〔ア 革　イ 馬　ウ 高　エ 庭　オ 記〕

(3)〔ア 推　イ 絶　ウ 章　エ 貧　オ 続〕

(4)〔ア 働　イ 墓　ウ 新　エ 像　オ 続〕

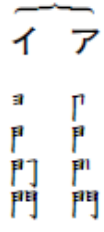
4 次の漢字の→が指している部分は、何画めに書くのが正しいですか。数字で答えなさい。（各4点）

(1) 馬　（　　）画め　(2) 再　（　　）画め

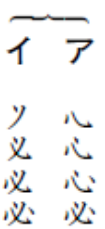
(3) 危　（　　）画め　(4) 布　（　　）画め

5 次の漢字の筆順の正しい方を選びなさい。（各4点）

(1) 母

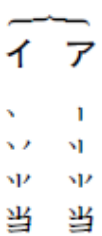


(2) 必



(3) 局

(4) 当



(5) 門

MJ 小6国語 確認テスト④

難しい漢字の読み書き

名前	
得点	
	／100

1 次の――線部の漢字はひらがなに、カタカナは漢字に直して書きなさい。（各2点）

(1) 先祖を供養する。（　　）
(2) ご利益のある神社。（　　）
(3) 過ちに気がつく。（　　）
(4) 老若男女が集まる。（　　）
(5) 気に障る。（　　）
(6) 血眼になってさがす。（　　）
(7) スコやかに育つ。（　　）
(8) ケビョウをつかう。（　　）
(9) 心がナゴむ。（　　）
(10) 計画の実現をアヤぶむ。（　　）
(11) ウツワの小さい人だ。（　　）
(12) 山々が夕日にハえる。（　　）

2 ――線部の漢字の読みに注意して、次の熟語の読みをそれぞれ書きなさい。（各2点）

(1) 権利（ア　　）　権化（イ　　）
(3) 暗幕（ア　　）　幕府（イ　　）
(5) 反発（ア　　）　反物（イ　　）
(7) 就職（ア　　）　成就（イ　　）
(9) 固定（ア　　）　定規（イ　　）

(2) 納税（ア　　）　出納（イ　　）
(4) 一丁（ア　　）　丁重（イ　　）
(6) 砂丘（ア　　）　土砂（イ　　）
(8) 悪態（ア　　）　悪寒（イ　　）
(10) 永久（ア　　）　久遠（イ　　）

3 次の熟語の読みを書きなさい。（各2点）

(1) 小児（　　）　(2) 浴衣（　　）
(3) 紅葉（　　）　(4) 遺言（　　）
(5) 殺生（　　）　(6) 小豆（　　）
(7) 早速（　　）　(8) 田舎（　　）

4 次の――線部の漢字はひらがなに、カタカナは漢字に直して書きなさい。（各2点）

(1) 費用の内訳を説明する。（　　）
(2) 行き過ぎを是正する。（　　）
(3) 解毒作用のある植物。（　　）
(4) 不正を暴露する。（　　）
(5) キジョウの空論をとなえる。（　　）
(6) 時間をゲンシュする。（　　）
(7) 先生から資料をハイシャクする。（　　）
(8) 彼はとても目がキく。（　　）
(9) 生活態度をサッシンする。（　　）
(10) もめごとのチュウサイをする。（　　）

MJ 小6国語 確認テスト⑤

同音・同訓異字と同音異義語

名前	
得点	
	／100

1 次の読みをもつ漢字を書き入れ、熟語をそれぞれ作りなさい。（各4点）

(1) ショウ　ア（　）待　イ（　）介

(2) キョウ　ア（　）味　イ（　）界

(3) サイ　ア 返（　）　イ（　）判

(4) テン　ア（　）型　イ 発（　）

2 次の各組の――線部のカタカナを漢字に直して書きなさい。（各4点）

(1) ア 遅刻したことをアヤマる。（　る）
イ 目測をアヤマる。（　る）

(2) ア 湖にノゾんだ保養地。（　んだ）
イ ノゾみがようやくかなう。（　み）

(3) ア 四月から銀行にツトめる。（　める）
イ 児童会の議長をツトめる。（　める）

(4) ア カンシュウの声援にこたえる。（　）
イ 従来のカンシュウを改める。（　）

(5) ア 外国人をタイショウとした調査。（　）
イ 本人と写真をタイショウする。（　）
ウ 左右タイショウの図がら。（　）

(6) ア 重荷からカイホウされる。（　）
イ 病気がカイホウに向かう。（　）
ウ 校庭を市民にカイホウする。（　）

3 次の――線部のカタカナにあてはまる漢字を、それぞれあとから選びなさい。（各3点）

(1) 結果をコウヒョウする。
〔ア 好評　イ 公表　ウ 講評　エ 高評〕

(2) 各国の政治タイセイを調べる。
〔ア 体制　イ 態勢　ウ 大勢　エ 体勢〕

(3) カバンをシンチョウした。
〔ア 新調　イ 身長　ウ 伸長　エ 深長〕

(4) 荷物をイドウさせた。
〔ア 異同　イ 異動　ウ 移同　エ 移動〕

MJ 小6国語 確認テスト⑥

熟語の組み立て／三字熟語・四字熟語

名前	
得点	
	／100

1 次の熟語は、あとの①～⑨のどれに属しますか。それぞれ番号で答えなさい。（各3点）

(1) 損得（　　）　(2) 判然（　　）　(3) 歓喜（　　）　(4) 形成（　　）

(5) 無私（　　）　(6) 発熱（　　）　(7) 口々（　　）　(8) 再会（　　）

① 同じ漢字を重ねたもの（畳語）　② 意味の似た漢字を組み合わせたもの

③ 反対の意味の漢字を組み合わせたもの　④ 上の漢字が下の漢字を修飾しているもの

⑤ 下の漢字が上の漢字の目的語となっているもの

⑥ 上の漢字と下の漢字が主語・述語の関係になっているもの

⑦ 上に「不・無・非・未」が付いて、下の漢字の意味を打ち消しているもの

⑧ 下に「然・性・的・化」が付いて、様子、状態などを表したり、意味をそえたりするもの

⑨ 長い熟語を省略したもの

2 次の(1)～(8)の（　　）の中に「不・無・非・未」のいずれか一字を書き入れて、三字熟語を作りなさい。（各2点）

(1) （　　）愛想　(2) （　　）都合　(3) （　　）合法　(4) （　　）処理

(5) （　　）防備　(6) （　　）常識　(7) （　　）責任　(8) （　　）始末

3 次の(1)～(8)の（　　）に適当な漢数字を書き入れて、四字熟語を作りなさい。（各3点）（完答）

(1) （　　）石（　　）鳥　(2) （　　）苦（　　）苦

(3) （　　）転（　　）起　(4) （　　）差（　　）別

(5) （　　）人（　　）色　(6) （　　）日（　　）秋

(7) （　　）朝（　　）夕　(8) （　　）変（　　）化

4 次の(1)～(12)の（　　）に適当な漢字を書き入れて、四字熟語を作りなさい。（各3点）（完答）

(1) 空（　　）絶（　　）　(2) （　　）進（　　）歩

(3) （　　）肉（　　）食　(4) 因（　　）応（　　）

(5) 公（　　）正（　　）　(6) （　　）機（　　）変

(7) 我（　　）引（　　）　(8) 異（　　）同（　　）

(9) （　　）挙（　　）得　(10) （　　）業（　　）得

(11) （　　）捨（　　）択　(12) （　　）小（　　）大

MJ 小6国語 確認テスト⑦

類義語・対義語

名前
得点
／100

1 次の熟語と最も意味の近いことばを、それぞれ下から選びなさい。（各3点）

(1) 使命（ア 義務 イ 任務 ウ 任命 エ 宿命）
(2) 返事（ア 応答 イ 承諾 ウ 発声 エ 回答）
(3) 気性（ア 気質 イ 本質 ウ 生気 エ 気鋭）
(4) 志願（ア 志望 イ 大志 ウ 願望 エ 本望）
(5) 未開（ア 原始 イ 古代 ウ 文明 エ 野生）
(6) 形勢（ア 勢力 イ 形式 ウ 形態 エ 情勢）

2 次の熟語の類義語を、それぞれあとから選んで書きなさい。（各3点）

(1) 進歩 ―― （　　）
(2) 郷里 ―― （　　）
(3) 倹約 ―― （　　）
(4) 準備 ―― （　　）
(5) 所持 ―― （　　）
(6) 消息 ―― （　　）

音信　所有　向上　故郷　平易　用意　節約

3 次の各組の(1)～(3)はたがいに類義語、(4)～(6)はたがいに対義語になるように、□にあてはまる漢字をそれぞれ書きなさい。（各4点）

(1) 欠点 □所 …（　　）
(2) 努力 □進 …（　　）
(3) 母国 □国 …（　　）
(4) □去 未来 …（　　）
(5) 安全 □険 …（　　）
(6) □象 具体 …（　　）

4 次の熟語の対義語を、それぞれ下から選びなさい。（各4点）

(1) 消極（ア 極論 イ 合理 ウ 乱暴 エ 積極）
(2) 内容（ア 形式 イ 全体 ウ 外部 エ 体形）
(3) 過失（ア 故意 イ 達成 ウ 成果 エ 失意）
(4) 原因（ア 因果 イ 結論 ウ 結果 エ 結末）

5 次の熟語の対義語を、それぞれ漢字で書きなさい。（各4点）

(1) 質疑 ←→（　　）
(2) 延長 ←→（　　）
(3) 勝利 ←→（　　）
(4) 単純 ←→（　　）
(5) 需要 ←→（　　）
(6) 有効 ←→（　　）

MJ 小6国語 確認テスト⑧

ことわざ・慣用句・故事成語

名前	
得点	
	／100

1 次のことばに続くことばをそれぞれあとから選び、ことわざを完成させなさい。（各5点）

(1) そなえあれば（　　）　(2) 長いものには（　　）

(3) おぼれる者は（　　）　(4) 無理がとおれば（　　）

ア 障子に目あり　**イ** しりかくさず　**ウ** まかれよ　**エ** 道理がひっこむ

オ うれいなし　**カ** せんたく　**キ** ものの上手なれ　**ク** わらをもつかむ

2 次の故事成語・慣用句の意味を、あとから選びなさい。（各5点）

(1) 馬耳東風（　　）　(2) 呉越同舟（　　）

(3) 朝令暮改（　　）　(4) 大器晩成（　　）

(5) 推敲（　　）　(6) 杜撰（　　）

(7) 油を売る（　　）　(8) 折り紙をつける（　　）

ア むやみに命令や法律などを変えること

イ むだ話などをして仕事をなまけること

ウ 大人物はおくれて大成するということ

エ だいじょうぶであると保証すること

オ 文章をねりにねること

カ 仲の悪いもの同士が行動を共にすること

キ 何をいわれても心にとめず、聞き流すこと

ク 誤りが多いこと

3 次の（　　）に身体の一部を表す漢字を書き入れて慣用句を作り、その意味をあとから選びなさい。（各5点）（完答）

(1) （　　）を割る［　　］　(2) （　　）に衣着せぬ［　　］

(3) （　　）を焼く［　　］　(4) （　　）をふるう［　　］

(5) （　　）に余る［　　］　(6) （　　）を巻く［　　］

ア がまんがならないこと　**イ** 能力を十分に発揮すること

ウ 味方をすること　**エ** かくさずに打ち明けること

オ すごさにおどろくこと　**カ** ずけずけとものを言うこと

キ 最初に話し出すこと　**ク** しまつにこまること

4 次の（　　）に適当な漢字一字を書き入れ、文を完成させなさい。（各5点）

(1) 妹の落胆ぶりは、まるで青菜に（　　）だ。

(2) あまり（　　）に乗ると、そのうち痛い目にあうよ。

MJ 小6国語 確認テスト⑨

敬語

名前	
得点	
	／100

1 次の各文の［　］の言い方のうち、正しい方をそれぞれ選びなさい。（各4点）

(1) そんなことを［**ア** いたしては **イ** なさっては］いけません。

(2) ［**ア** お母さん **イ** お母さま **ウ** 母］がお会いしたいと［**エ** 申して **オ** 言われて **カ** 言って］おりました。

2 次の(1)～(3)のことばを、敬語として適切な表現に直し、（　）の中に書き入れなさい。（各5点）

(1) 来る
① 私の父ももうすぐ（　　）ます。
② お客さまが（　　）ました。

(2) 食べる
① ではさっそくですから（　　）ます。
② 何でも好きなものを（　　）ください。

(3) 見る
① お手紙を（　　）しました。
② あの素晴らしい景色を（　　）ください。

3 次の各文の――線部を、〈　〉内の指示にしたがって書き直しなさい。（各6点）

(1) 遠足の予定について先生が話した。〈尊敬表現に・四字で〉（　　）

(2) みなさまに報告します。〈謙譲表現に・八字で〉（　　）

(3) できるだけ早く行きます。〈謙譲表現に・五字で〉（　　）

4 次は、小学校の先生と男子生徒との会話です。［　　］A～Fに最もよくあてはまることばを、それぞれあとから選びなさい。（各5点）

「先生、なにか［A］ですか。」

「きみの進学のことでお父さんに一度［B］のだが、明日の午後、学校まで来て［C］ないだろうかね。」

「はい、たぶんきて［D］だろうと思います。でも、先生は明日何時まで学校に［E］か。」

「五時ごろまではいます。」

「では、帰りましたら、そのように［F］に伝えます。」

ア 用事　**イ** 父　**ウ** おります　**エ** お目にかかりたい
オ 会いたい　**カ** もらえる　**キ** いらっしゃいます　**ク** いただけ
ケ お父さん　**コ** くださる　**サ** ご用　**シ** もらえ

A（　　）　B（　　）　C（　　）
D（　　）　E（　　）　F（　　）

5 次の各文には、それぞれ敬語表現の誤りがあります。その部分を改めて、全文を書き直しなさい。（各5点）

(1) 父母会には父がおいでになります。
（　　）

(2) 私の家に先生がおうかがいするそうです。
（　　）

MJ 小6国語 確認テスト⑩

文・文節・単語

名前
得点
／100

1 次の各文の文節の正しい分け方を、あとから選びなさい。（各5点）

(1) 私の弟は今年八歳になります。

ア 私の／弟は／今年／八歳に／なります。
イ 私の弟は／今年／八歳に／なり／ます。
ウ 私の／弟は／今年八歳に／なります。

(2) とてもいそがしくて猫の手も借りたいほどだ。

ア とても／いそがしくて／猫の手も／借りたいほどだ。
イ とても／いそがしくて／猫の／手も／借りたい／ほどだ。
ウ とても／いそがしくて／猫の／手も／借りたいほどだ。

2 次の各文の単語の正しい分け方を、あとから選びなさい（各6点）

(1) 向こうの森はおそらく静かだろう。

ア 向こう／の／森／は／おそらく／静かだろ／う。
イ 向こう／の／森／は／おそらく／静かだ／ろう。
ウ 向こう／の／森／は／おそらく／静か／だ／ろう。

(2) 三人の子どもはすくすくと立派に育った。

ア 三／人／の／子ども／は／すくすく／と／立派に／育った。
イ 三人／の／子ども／は／すくすくと／立派／に／育っ／た。
ウ 三人／の／子ども／は／すくすくと／立派に／育っ／た。

3 次の文を、例にならって文節に区切りなさい。（各8点）

【例】今朝は一とても一寒くて一つらかった。

(1) いかにも南国らしい夜明けの光景でした。

(2) 早くスキーができるようになりたい。

(3) 手紙はもらうことだけが楽しいのではなく、書く楽しみもあります。

4 次の文を、例にならって単語に区切りなさい。（各8点）

【例】今朝一は一とても一寒く一て一つらかっ一た。

(1) 彼は完全に自分の使命を果たした。

(2) 父は真剣な顔になり、弟の方に向き直った。

(3) いかに苦しかろうと、最後までやりぬくしかなかったのです。

5 次の各文は、それぞれいくつの文節と単語から成り立っていますか。数字で答えなさい。（各5点）

(1) 岩の上をのりこえて落ちていく水は、すごく速い。　文節（　　）　単語（　　）

(2) ぼくたちは、学校のそばまで行った。　文節（　　）　単語（　　）

(3) 少女の顔をひと目見れば、だれでもそれがクララだということを知っている。

文節（　　）　単語（　　）

MJ 小6国語 確認テスト⑪

主語・述語・修飾語

名前	
得点	
	／100

1 次の各文から、主語と述語をそれぞれ書きぬきなさい。（各5点）（完答）

(1) 丘の上に白く小さな雲がぽっかりとうかんでいる。　主語（　　）述語（　　）

(2) ぼくたちははげしい雨の中をけんめいに走った。　主語（　　）述語（　　）

(3) 朝の光の中で彼の横顔がとてもりりしく見えた。　主語（　　）述語（　　）

(4) あの古びた門こそ重要文化財に指定されている山門です。　主語（　　）述語（　　）

2 次の各組の中から、他の二つとは文の型が異なるものを選び、その文の主語と述語をぬき出しなさい。（各8点）（完答）

(1)
ア ぼくは友人の秘密を知った。　主語（　　）
イ ぼくは急に苦しくなった。　述語（　　）
ウ ぼくはとてもさびしかった。

(2)
ア 急に空が黒くかげった。　主語（　　）
イ 風はいつもより強いようだ。　述語（　　）
ウ 弟さえ貯金を持っている。

(3)
ア 今年の冬は例年より寒い。　主語（　　）
イ 今日は今年一番の寒さだ。　述語（　　）
ウ 昨日は暑い一日だった。

3 次の各文から、修飾語をすべて書きぬきなさい。（各7点）（完答）

(1) 春のやわらかい日ざしが明るく照っている。（　　）

(2) 東の空がしだいに明るくなりだした。（　　）

4 次の――線部のことばが修飾していることばを、選びなさい。（各6点）

(1) かつてア友だちとイ北海道へウ旅行したエことがオある。

(2) 今にもア波頭がイ小屋のウ上にエくずおれてくるようなオ予感にカおびえた。

(3) 窓の外にはア色あせたイ湖がウ丘のエ多いオ岸にカするどくキふちどられてク遠くケかなたまでコ広がっていた。

(4) 科学はかならずア人間をイ幸福にウするとエいいきるオことはカとうていキできない。

5 次の各文の――線部のことばが修飾していることばを書きぬきなさい。（各6点）

(1) ときどき、強い風が窓ガラスをガタガタと鳴らした。（　　）

(2) その湾内の中央には、幅五〇〇メートルほどのカラス島と呼ばれる無人島が横たわっていた。（　　）

(3) しばらく彼はそうやって画を見ていたが、やがて興味を失ったらしく、足早に去っていった。（　　）

MJ 小6国語 確認テスト⑫

単語の種類（品詞）／名詞・代名詞

名前	
得点	
	／100

1 次の各組のことばのうち、他と性質の異なるものを、それぞれ一つずつ選びなさい。（各4点）

(1) 〔ア 美しい　イ 遠い　ウ すなおだ　エ 楽しい〕

(2) 〔ア ふしぎな　イ 小さな　ウ たくみな　エ きれいな〕

(3) 〔ア これ　イ あれ　ウ その　エ どこ〕

(4) 〔ア ところが　イ すなわち　ウ しかも　エ いつも〕

(5) 〔ア 急ぐ　イ すぐ　ウ しのぐ　エ かつぐ〕

2 次の各文の――線部のことばの種類を、それぞれあとから選びなさい。（各4点）

(1) だれが行くのか。（　　）

(2) まあ、きれい。（　　）

(3) 四国は暖かい。（　　）

(4) 遊びに夢中だ。（　　）

(5) この絵が好きだ。（　　）

(6) あちらへ行け。（　　）

ア 普通名詞　イ 固有名詞　ウ 数詞　エ 人称代名詞　オ 指示代名詞　カ 名詞ではない

3 次の（　）にあてはまる代名詞を、あとから選びなさい。（各5点）

(1) （　　）で手を振っているのが私の恩師です。

(2) （　　）も似たり寄ったりだ。

(3) おじの家はすぐ（　　）の角を曲がったところです。

(4) コーヒーと紅茶の（　　）をめしあがりますか。

ア これ　イ それ　ウ どれ　エ ここ
オ そこ　カ どちら　キ こちら　ク あちら

4 次の各文の（　）にあてはまることばを、あとから選んで書き入れなさい。（各4点）

(1) 豆腐を三（　　）ください。

(2) くじらが二（　　）、仲よく泳いでいる。

(3) 三（　　）の書類を提出する。

(4) はしを一（　　）買い求めた。

〔膳　服　面　丁　個　頭　局　戸　通　食〕

5 次の語を変化させて、あとの文の（　）にあてはまる名詞を作って書きなさい。（各5点）

(1) 楽しい
① あのときの（　　）を思い出します。
② 父の帰りを（　　）に待つ。

(2) 高い
① （　　）の見物としゃれこもう。
② 足がすくむほどの（　　）に驚く。

MJ 小6国語 確認テスト⑬

動詞・形容詞・形容動詞

名前	
得点	
	／100

1 次の各文の（　）に、「行く」「おいしい」「静かだ」のいずれかを正しく活用させて書き入れなさい。（各5点）

(1) 「早く、（　　）。」と、父は私にうながした。

(2) 彼のように（　　）男は初めて見る。

(3) この料理は高いだけで、少しも（　　）ない。

(4) 今日の会議はとても（　　）た。

(5) 雨が降っても、ぼくは必ず（　　）ます。

2 次の各組の――線部のことばのうち、用言はどちらですか。（各5点）

(1)
ア 母は立派だ。
イ 兄は中学生だ。

(2)
ア 弟は熱がある。
イ ある駅に着く。

3 次のことばを活用させて（　）に書き入れ、文が通じるようにしなさい。（各9点）

(1) 味わう
① もっとよく（　　）なければならない。
② もっとゆっくり（　　）ばいいのに。
③ もっと（　　）うね。

(2) つらい
① 父もさぞ（　　）う。
② 父は何かというと兄に（　　）あたる。
③ 父もかなり（　　）たようだ。

4 次の各文にあてはまる動詞の送りがなを、それぞれ（　）に書き入れなさい。（各4点）

(1)
① 彼の顔を見て気持ちが和（　　）のがわかる。
② 彼の気持ちを和（　　）ために冗談を言う。

(2)
① 長年の目的をようやく果（　　）た。
② 祝賀会は十時前にようやく果（　　）た。

(3)
① 鉄道のダイヤが乱（　　）ば、利用者は困る。
② 台風が鉄道のダイヤを大幅に乱（　　）た。

(4)
① すべての夢が費（　　）てしまった。
② 残りの時間を詩の暗唱に費（　　）う。

5 次の各組の――線部のことばの中から、他の二つとは異なるものを選びなさい。（各5点）

(1)
ア それは大きな成果だ。
イ ここまで来れば安全だ。
ウ ぼくはりんごが好きだ

(2)
ア 彼には勇気がない。
イ なぜかくやしくない。
ウ 姉は決して怒らない。

(3)
ア スイスのある町で彼をみかけた。
イ そんなのはどこにでもある話だ。
ウ うるおいのある生活を送りたい。

MJ 小6国語 確認テスト⑭

副詞／擬声語・擬態語

名前	
得点	／100

1 次の各文の中から副詞を一つずつ書きぬきなさい。また、それらの副詞があとの**ア**～**ウ**のどれにあたるかを、記号で答えなさい。（各5点）（完答）

(1) 人口の高齢化がしだいに進んでいる。（　　）（　　）
(2) 私もぜひ連れて行ってください。（　　）（　　）
(3) 意外なことに、かなり暖かかった。（　　）（　　）
(4) 姉はたいへんいそがしいらしい。（　　）（　　）
(5) はい、私もそう思います。（　　）（　　）
(6) 父はぼそぼそと何ごとかつぶやいた。（　　）（　　）
(7) 雪はなぜ降るのだろうか。（　　）（　　）
(8) 明日はたぶん快晴になるでしょう。（　　）（　　）

ア 状態を表している副詞　　**イ** 程度を表している副詞　　**ウ** 呼応の副詞

2 次の――線部のことばに注意して、□にあてはまるひらがなを書きなさい。（各5点）

(1) よもや負けることはある□□。（　　）
(2) たとえ君が行かなく□□、ぼくは行く。（　　）
(3) そんなこと、ちっとも知ら□□□た。（　　）
(4) まさか雪は降ら□□□□。（　　）
(5) 必ずしも当選するとは限り□□□。（　　）
(6) まるで雨が降った□□□道路がぬれている。（　　）

3 次の――線部の副詞が修飾していることばを、それぞれ一文節で書きぬきなさい。（各6点）

(1) 父はときどきくつ下を裏がえしにはくというくせを持っていて、みなに笑われます。（　　）
(2) 何かというとすぐ人に責任を転嫁することが、彼がきらわれる最大の理由です。（　　）
(3) いきなり見知らぬ人が目の前に現れたので、私は息が止まりそうなほどにびっくりした。（　　）

4 次の各組の（　　）にあてはまることばを、それぞれあとから選びなさい。（各2点）

(1) ① 金属音が（　　）耳にひびく。
② 重苦しい音が（　　）腹にひびく。
③ 鐘がけたたましく（　　）鳴りひびく。

ア ズンズンと　**イ** カンカンと　**ウ** キンキンと　**エ** コンコンと

(2) ① 大粒の雨が（　　）顔に当たった。
② 小雨が（　　）降り続き、うっとうしい。
③ 花びらが（　　）湖面に舞い落ちる。

ア ばさばさと　**イ** ひらひらと　**ウ** しとしとと　**エ** ぽつぽつと

MJ 小6国語 確認テスト⑮

指示語・接続語

名前	
得点	
	／100

1 次の文章中から指示語を書きぬき、その指示語が指し示している内容を書きぬきなさい。（各10点）（完答）

(1) 「彼はまちがっている」と兄が言った。そこで、ぼくはすかさず、「ぼくもそう思う」と答えた。

（　　）（　　）

(2) 何日もの航海のあと、彼は見知らぬ大きな島を発見しました。それこそまさに彼がさがし求めていた新大陸でした。

（　　）（　　）

2 次の文章中の――線部が指しているものを、それぞれ書きなさい。（各10点）

(1) どんなに整然とした理論であっても、それがいったん人間のことに関係してきたとなると、それで万事をおしはかるというわけにはいかない。

（　　）

(2) キノコの栄養となる土壌には、まずオガクズとヌカをまぜ、これをコメのトギ汁でこねるのだそうだ。ついで、これを広口びんに入れ、殺菌をする。

（　　）

3 次の（　　）にあてはまる接続語を、それぞれあとから選びなさい。（各6点）

(1) すっかり春めいてきた。（　　）、頂上には残雪がある。

(2) 彼はスキーに行くそうだ。（　　）、君はどこへ行くの。

(3) 太陽が顔を出した。（　　）、辺りの景色が一変した。

(4) 一週間後、（　　）クリスマス・イブには帰る。

(5) 兄は元気がなかった。（　　）姉もしおれていた。

ア ところで　**イ** あるいは　**ウ** つまり　**エ** すると　**オ** しかし　**カ** そして

4 次の各文章の（　　）にあてはまる接続語を、それぞれあとから選びなさい。(2)は同じ記号を二度使ってもかまいません。（各5点）

(1) いま、君はプラモデルが大好きだとする。ほしくて、ほしくてたまらない。（　　）、ある日、君の家の前に、そのほしくてたまらないプラモデルが落ちていたとする。（　　）、それを見た君はどうするだろうか。

ア なぜなら　**イ** すると　**ウ** やはり　**エ** そして　**オ** けれど　**カ** すなわち

(2) 日本語という言葉に対して国語という言葉があります。この二つは同じものを意味しているようで、実はそうではありません。（　　）、国語という言葉が指している対象は一つだからです。（　　）、日本語の中のさまざまな方言の中から一つの方言を選び、その方言にすべての方言の標準となるという特権をあたえたものを国語と決めているのです。

（　　）、母語という言葉もあります。母語というのは文字どおり話し手のお母さんの言葉のことを言います。（　　）、その人がお母さんから乳をもらうように自然にもらった言葉という意味です。

ア つまり　**イ** また　**ウ** なぜなら　**エ** だから

MJ 小6国語 確認テスト⑯

助動詞

名前	
得点	
	／100

1 次の各文の□にあてはまるように、〔　〕内の意味をそえる助動詞をひらがなで書きなさい。（各6点）

(1) まるでりんごの□□□ほおをしている。〔たとえ〕（　　）

(2) 彼のようにぼくも努力し続け□□と心に誓った。〔意志〕（　　）

(3) 母は八百屋にかぼちゃを届け□□た。〔使役〕（　　）

(4) 弟はすぐにジュースを飲み□□□。〔希望〕（　　）

2 次の文の――線部のことばと意味・用法が同じものを、それぞれあとから選びなさい。（各7点）

(1) アメリカの首都はワシントンだ。

ア 彼は親切な人だ。　イ ここはとても静かだ。

ウ 彼は意地悪だ。　エ インクのにじんだ手紙。

(2) 新聞記者に写真を撮られた。

ア 春の気配が感じられる。　イ 先生が歩いて来られる。

ウ 国宝は大切にされる。　エ ゆっくり寝られる。

(3) あそこにいるのは犬らしい。

ア 弟も行きたいらしい。　イ 本らしい本を読んでいない。

ウ 彼の態度は男らしい。　エ 子供らしい可愛いしぐさ。

(4) 彼は今日はどこへも行かないようだ。

ア 彼がする話はいつも全くつまらない。　イ 図書館から借りたこの本はおもしろくない。

ウ 決して眠らない人など、いるわけがない。　エ そのことを知る人はたいへん少ない。

3 次の各組の――線部のことばのうち、他とは意味・用法が異なるものを一つずつ選びなさい。（各8点）

(1)
ア 危ういところを友人に助けられる。
イ これぐらいの寒さならなんとかたえられる。
ウ イチョウの木が校庭に植えられることになった。
エ その子犬は捨てられる運命にあった。

(2)
ア 兄は東京で元気に働いているそうだ。
イ 兄は父のいどころを知っているそうだ。
ウ 兄はアメリカに留学するそうだ。
エ 兄はどことなくさびしそうだ。

(3)
ア 彼は変わった洋服をたくさん持っている。
イ 夕べ見た映画はとてもおもしろかった。
ウ 兄はとても元気でした。
エ 試合に負けてとてもくやしかった。

(4)
ア 十時になったら寝ようと思います。
イ ぼくも先生の家をたずねてみよう。
ウ 明日から毎日勉強しようと思います。
エ 母も父の帰りを持ちわびていよう。

(5)
ア 兄は何もかも知っているようだ。
イ 両方の肩にまるで石をのせているようだ。
ウ だれか木のかげにいたようだ。
エ 料理はもうできあがったようだ。

(6)
ア 空を飛んでいるような気持ちでした。
イ 兄のような立派な科学者になりたい。
ウ 父は鬼のような顔をして怒った。
エ バケツをひっくり返したような大雨だ。

MJ 小6国語 確認テスト⑰

助詞

名前	
得点	
	／100

1 次の各文の――線部の助詞とほぼ同じ働きをする助詞を、それぞれあとから選びなさい。（各7点）

(1) 苦しいが、最後までやりぬくしかない。（　　）

(2) 弟さえその程度のことは知っている。（　　）

(3) 宿題も終わったし、あとはねるばかりだ。（　　）

(4) 明日から祇園祭りが始まります。（　　）

ア より　イ だけ　ウ でも　エ けれど　オ ので　カ と

2 次の各文の――線部のことばと意味・用法が同じものを、それぞれあとから選びなさい。（各8点）

(1) これは私の本です。

ア 父の書いた本が本屋にあった。
イ その棚にある黄色いのをください。
ウ 何をしているのと妹がきいた。
エ 気分転換に外の空気を吸ってくる。

(2) 雨など降るものか。

ア 明日は晴れるだろうか。
イ いい天気だから、駅まで歩こうか。
ウ そんな不思議なことがあるものか。
エ 君は先生の家の電話番号を知っていますか。

(3) 大雪で鉄道のダイヤが大幅に乱れる。

ア 今日、先生は急用で休まれた。
イ 新聞紙でかぶとを作る。
ウ 道路で遊んではいけません。
エ このあたりは空気がきれいで快い。

(4) 忘れものを家まで取りに行く。

ア 正午に東京駅でおじと会う。
イ 祖父は二階の書斎にいます。
ウ 宿題を兄と姉に手伝ってもらう。
エ 家族そろってラグビーを見に行く。

(5) 私にさえ理解できるやさしい理論だ。

ア 雨が降り、風さえ出てきた。
イ 小学生になってもひらがなさえ読めない。
ウ 元気でさえいてくれたらいい。
エ 他の飲み物がなくても牛乳さえあればいい。

(6) 彼は自分の立場ばかり主張している。

ア 弟はマンガばかり読んでいる。
イ 届いたばかりの小包を開けてみる。
ウ つった魚は大小合わせて十ぴきばかりだ。
エ それは百年ばかり前に起きた事件です。

(7) 月日の過ぎ行くのは本当に早い。

ア あの山がチョモランマです。
イ これが彼の設計した建物か。
ウ きれにいなのを選んでください。
エ せみの鳴き声がうるさい。

3 次の各組の――線部の助詞のうち、他とは意味・用法が異なっているものを、それぞれ選びなさい。（各8点）

(1)

ア 結果を発表するから、静かにしてくれ。
イ いそがしいから失礼する。
ウ 明日の早朝から工事が始まる。
エ 外は寒そうだから、コートを持って行く。

(2)

ア この薬を飲むと楽になる。
イ 春になると桜の花が咲く。
ウ 彼が話しだすと長くなる。
エ 美しい海と青々とした山が見える。

MJ 小6国語 確認テスト⑱

語句の意味・用法(1)

名前	
得点	
	／100

1 次の四字熟語の読みがなを（　）に書きなさい。また、それぞれの意味をあとから選び、〔　〕に記号で答えなさい。（各7点）（完答）

(1) 自業自得（　　）〔　　〕　(2) 言語道断（　　）〔　　〕

(3) 傍若無人（　　）〔　　〕　(4) 我田引水（　　）〔　　〕

(5) 支離滅裂（　　）〔　　〕　(6) 異口同音（　　）〔　　〕

ア 自分のしたことの報いが自分に返ってくること　**イ** まわりにかまわず、勝手きままにふるまうこと

ウ もってのほかであること　**エ** 多くの人が同じことを言うこと

オ ばらばらで筋道がたたないこと　**カ** 自分の都合のよいようにすること

2 次の各文の□□□□にあてはまる四字熟語を、それぞれあとの漢字を組み合わせて書きなさい。（各6点）

(1) 外国語は□□□□には習得できない。根気が大切だ。

〔朝　昼　夜　夕　晩　行　一　二　兼　一〕（　　）

(2) 急に困ったことが起こった時は、君の判断で□□□□に処理しなさい。

〔処　自　臨　状　置　急　応　差　機　変〕（　　）

(3) 仲間となにかスポーツをすることは、楽しいし、健康にもいいし、□□□□というものだ。

〔石　二　両　共　挙　丁　一　得　調　徳〕（　　）

3 次の各文の――線部の語句の意味として最も適当なものを、それぞれあとから選びなさい。（各6点）

(1) 古本屋で掘り出し物を見つける。

ア なかなかさがし当てることのできない大切なもの　**イ** 苦労してようやく求めた古い時代のもの

ウ だれもかれもがほしがっている貴重なもの　**エ** 思いもよらず安く手に入れた価値のあるもの

(2) なんとか彼と折り合いをつけることができた。

ア それぞれの取り分を決めること　**イ** きちんとけじめをつけること

ウ ゆずり合って話をまとめること　**エ** 利益と損害をはっきりさせること

4 次の語の意味として適当なものをそれぞれあとから選びなさい。（各2点）

(1) 道　①　道を誤る（　　）　②　解決の道をさがす（　　）

③　道にそむく（　　）　④　駅へ行く道で父と出会う（　　）

ア 進路　**イ** 道のり　**ウ** 途中　**エ** 道徳　**オ** 手段　**カ** 筋道

(2) 心　①　心にかなう（　　）　②　心を動かす（　　）

③　茶の心（　　）　④　心をこめる（　　）

ア 思いやり　**イ** おもむき　**ウ** 意向　**エ** 意味　**オ** 判断力　**カ** 気持ち

5 次の各組の熟語のうち、――線部の漢字が、あとの〈　〉内の意味で使われているのはどれですか。一つずつ選びなさい。（各6点）

(1) 〔**ア** 指名　**イ** 有名　**ウ** 名案　**エ** 名称〕〈「すぐれている」という意味〉

(2) 〔**ア** 短文　**イ** 短縮　**ウ** 短所　**エ** 短編〕〈「おとっている」という意味〉

MJ 小6国語 確認テスト⑲

語句の意味・用法(2)

名前	
得点	
	／100

1 次の（　）に適当な漢字一字を書き入れ、下の意味をもつ慣用句を作りなさい。（各2点）

(1)（　）を持たせる〈相手の人をたてること〉
(2)（　）がおけない〈親しく、遠慮がないこと〉
(3)（　）が知らせる〈なんとなく心に感じること〉
(4)（　）をつく〈ひと休みすること〉

2 次の慣用句の意味を表す二字の熟語を、あとの漢字を組み合わせて一つずつ作りなさい。（各3点）

(1) 目から鼻にぬける（　　）　(2) すずめの涙（　　）
(3) うでが上がる（　　）　(4) 立て板に水（　　）

〔能　発　断　待　量　達　弁　利　少　上　多　無　期　念〕

3 次の（　）に身体の部分を表すことばを漢字で書き入れ、文を完成させなさい。（各3点）

(1) 母は（　　）によりをかけて料理をつくってくれた。
(2) 彼は何にでもすぐ（　　）をつっこみたがる。
(3) あの人は成績のよいことを（　　）にかけている。
(4) 父の自慢ばなしを（　　）にたこができるほど聞かされた。

4 次のことわざと似たような意味のことわざを、それぞれあとから選びなさい。（各4点）

(1) ころばぬ先のつえ（　　）　(2) たなからぼたもち（　　）　(3) 口は災いのもと（　　）
(4) のれんに腕おし（　　）　(5) 花よりだんご（　　）　(6) 論より証拠（　　）
(7) 猿も木から落ちる（　　）　(8) 急がば回れ（　　）　(9) ねこに小判（　　）

ア 雉もなかずばうたれまい　**イ** 百聞は一見にしかず　**ウ** 河童の川流れ
エ せいては事をしそんじる　**オ** ちょうちんにつりがね　**カ** 石橋をたたいて渡る
キ 弱り目にたたり目　**ク** ぬかにくぎ　**ケ** 名より実をとる
コ ぶたに真珠　**サ** ぬれ手であわ　**シ** 二兎を追うものは一兎をも得ず

5 次の各文の――線部のことばが正しく使われているものには○、まちがって使われているものには×を書きなさい。（各4点）

(1) 親友同士が呉越同舟で共通の敵と戦った。（　　）
(2) 一日千秋の思いで息づまる熱戦を観戦した。（　　）
(3) 付和雷同でみなの心が一つにまとまり、勝利した。（　　）
(4) 彼の学説は矛盾だらけで、とても信用できない。（　　）
(5) 新製品の開発には各社がしのぎをけずる。（　　）
(6) 兄の言ったことは的を得ていて、参考になった。（　　）
(7) 最近の彼の態度には目をひそめる人が少なくない。（　　）
(8) わらをもつかむ思いで友人に救いを求めた。（　　）

MJ 小6国語 確認テスト⑳

文学史の知識

名前
得点
／100

1 次の文学作品の作者名を、それぞれあとから選びなさい。（各4点）

(1) こころ（　　）　(2) 城の崎にて（　　）　(3) 友情（　　）
(4) 山椒大夫（　　）　(5) 夜明け前（　　）　(6) 鼻（　　）
(7) 雪国（　　）　(8) たけくらべ（　　）　(9) 一握の砂（　　）

ア 島崎藤村　イ 夏目漱石　ウ 石川啄木　エ 志賀直哉　オ 樋口一葉
カ 森鴎外　キ 有島武郎　ク 芥川龍之介　ケ 川端康成　コ 武者小路実篤

2 次の作品に関係のあるものを、A群・B群からそれぞれ一つずつ選びなさい。B群は同じ記号を選んでもかまいません。（各4点）

(1) 奥の細道　(2) 新古今和歌集　(3) 源氏物語
(4) 土佐日記　(5) 吾輩は猫である　(6) 人間失格
(7) 智恵子抄　(8) おらが春　(9) 風の又三郎
(10) ベニスの商人　(11) 昆虫記　(12) ビルマの竪琴

〈A群〉

ア 斎藤茂吉　イ 川端康成　ウ 藤原定家　エ 宮沢賢治　オ ファーブル
カ シェークスピア　キ 小林一茶　ク 竹山道雄　ケ 太宰治　コ 高村光太郎
サ 松尾芭蕉　シ 紫式部　ス 夏目漱石　セ グリム兄弟　ソ 紀貫之

〈B群〉

ア 物語　イ 小説　ウ 随筆　エ 童話　オ 日記　カ 詩集
キ 句集　ク 歌集　ケ 戯曲　コ 紀行文　サ 記録文

	A群	B群		A群	B群		A群	B群		A群	B群
(1)			(2)			(3)			(4)		
(5)			(6)			(7)			(8)		
(9)			(10)			(11)			(12)		

3 次の説明にあてはまる作品を、それぞれあとから選びなさい。（各4点）

(1) 瀬戸内海のはなれ小島へやってきた女の先生、大石久子とその教え子との二十数年間の物語。（　　）
(2) 単純で率直な江戸っ子の主人公は、物理学校を卒業して、四国松山の中学校の先生になる。そこで無鉄砲な彼は、いろいろな事件をひきおこし、ついには四国を去っていく。（　　）
(3) ある学生が、旅の途中で旅芸人の一行と出会っていっしょに旅をするうちに、ひとりの少女に心をひかれ、素直な心をとりもどしていく様子を美しく描いたもの。（　　）
(4) 本田次郎少年が、つらい運命にたえながらも強く明るく生きていく話。（　　）

ア あすなろ物語　イ 次郎物語　ウ 一房の葡萄　エ 走れメロス　オ 潮騒
カ 坊ちゃん　キ 伊豆の踊子　ク 二十四の瞳　ケ トロッコ

MJ 小6国語 確認テスト㉑

推こう・原稿の直し方

名前	
得点	
	／100

1 次の各文は、主語と述語の関係が正しくありません。――線部を書き直し正しい文にしなさい。（各8点）

(1) ぼくの願いは、水族館で働きたい。

（　　）

(2) 会議に集まったのは、たった三人が集まった。

（　　）

(3) わたしの趣味は、紙で人形を作っている。

（　　）

2 次の各文は、――線部のことばの位置がふさわしくありません。例にならってことばの位置を変えて、全文を書き直しなさい。（各10点）

【例】いつの間にか、テレビゲームに熱中していると、空は暗くなっていた。

（テレビゲームに熱中していると、いつの間にか、外は暗くなっていた。）

(1) ふとんに入ったが、なかなか雨の音が気になって、ねむることができなかった。

（　　）

(2) どんよりと見上げた空はくもり、まるでぼくの心を表しているかのようだった。

（　　）

(3) いったい毎年夏が来ると若葉をしげらせていたプラタナスは、いつの間に姿を消したのだろう。

（　　）

3 次の各文を、ことばを変えないで、①・②の意味を表すように読点を打って書き直しなさい。（各4点）

(1) ぼくは大声をあげてにげる弟を追いかけた。

① 「大声をあげている」のは「ぼく」である。

（　　）

② 「大声をあげている」のは「弟」である。

（　　）

(2) わたしたちは昨日借りてきた本を読んだ。

① 本を「借りてきた」のが「昨日」である。

（　　）

② 本を「読んだ」のが「昨日」である。

（　　）

4 次の各文は、――線部の副詞に対することばの受け方が誤っています。正しく直して全文を書きなさい。（各10点）

(1) 強いチームが、必ずしも優勝するだろう。

（　　）

(2) 山頂まで歩きどおしで、さぞつかれたようだ。

（　　）

(3) どうか弟の失礼を許すでしょう。

（　　）

ＭＪ小６国語　確認テスト解答

①かなづかい・送りがな

１(1)**イ**　(2)**イ**　(3)**ア**　(4)**ア**　(5)**イ**

２(1)おうらい　(2)そこぢから　(3)ずが　(4)むずか（しい）　(5)きず（く）
(6)ちぢ（む）　(7)あず（ける）　(8)あじ（わう）

３(1)**イ**　(2)**ア**　(3)**イ**　(4)**イ**　(5)**イ**

４(1)○　(2)×　(3)×　(4)○　(5)×　(6)×　(7)○　(8)×

解説

(6)「合図」のような名詞の複合語には、原則として送りがなは不要である。

５(1)赤らめた　(2)費やした　(3)著しく　(4)外れる　(5)和らぐ　(6)化ける
(7)承る　(8)営んで

②漢字の成り立ち・部首

１(1)**ア**　(2)**イ**　(3)**イ**　(4)**エ**

２明・孫・燃・忘

３(1)王・求　(2)心・非　(3)亻・固　(4)米・分

４(1)灬れんが　(2)匚かくしがまえ
(3)隹ふるとり　(4)癶はつがしら
(5)欠あくび　(6)力ちから
(7)斤おのづくり　(8)亠なべぶた

５(1)**エ**　(2)**ウ**　(3)**ア**　(4)**ウ**

③漢字の画数・筆順

１(1)7　(2)9　(3)10　(4)16　(5)12　(6)12

２(1)・7　(2)・8　(3) ・10　(4)・7　(5)・11
(6) ・5

３(1)**ウ**　(2)**ア**　(3)**イ**　(4)**エ**

４(1)6　(2)6　(3)4　(4)1

５(1)**ア**　(2)**イ**　(3)**イ**　(4)**ア**　(5)**ア**

④難しい漢字の読み書き

(1)くよう　(2)りやく　(3)あやま（ち）　(4)ろうにゃくなんにょ
(5)さわ（る）　(6)ちまなこ　(7)健（やか）　(8)仮病　(9)和（む）
(10)危（ぶむ）　(11)器　(12)映（える）

解説

(3)「利益」は「りやく」（神仏によって授けられる恩恵）、または「りえき」（金銭的なもうけ、役に立つこと）と、意味によって読み分ける。

２(1)**ア**けんり　**イ**ごんげ　(2)**ア**のうぜい　**イ**すいとう
(3)**ア**あんまく　**イ**ばくふ　(4)**ア**いっちょう　**イ**ていちょう
(5)**ア**はんぱつ　**イ**たんもの　(6)**ア**さきゅう　**イ**どしゃ
(7)**ア**しゅうしょく　**イ**じょうじゅ　(8)**ア**あくたい　**イ**おかん
(9)**ア**こてい　**イ**じょうぎ　(10)**ア**えいきゅう　**イ**くおん

３(1)しょうに　(2)ゆかた（よくい）　(3)もみじ（こうよう）
(4)ゆいごん　(5)せっしょう　(6)あずき　(7)さっそく　(8)いなか

４(1)うちわけ　(2)ぜせい　(3)げどく　(4)ばくろ　(5)机上　(6)厳守
(7)拝借　(8)利（く）　(9)刷新　(10)仲裁

⑤同音・同訓異字と同音異義語

１(1)**ア**招　**イ**紹　(2)**ア**興　**イ**境　(3)**ア**済　**イ**裁　(4)**ア**典　**イ**展

２(1)**ア**謝　**イ**誤　(2)**ア**臨　**イ**望　(3)**ア**勤　**イ**務　(4)**ア**観衆　**イ**慣習
(5)**ア**対象　**イ**対照　**ウ**対称　(6)**ア**解放　**イ**快方　**ウ**開放

解説

「つとめる」には「務める」「勤める」の他に、努力するという意味の「努める」という同訓異字もある。

３(1)**イ**　(2)**ア**　(3)**ア**　(4)**エ**

⑥熟語の組み立て／三字熟語・四字熟語

1 (1)③ (2)⑧ (3)② (4)⑥ (5)⑦ (6)⑤ (7)① (8)④
2 (1)不（無） (2)不 (3)非 (4)未 (5)無 (6)非 (7)無 (8)不
3 (1)一・二 (2)四・八 (3)七・八 (4)千・万 (5)十・十 (6)一・千 (7)一・一 (8)千・万
4 (1)前・後 (2)日・月 (3)弱・強 (4)果・報 (5)明・大 (6)臨・応 (7)田・水 (8)口・音 (9)一・両 (10)自・自 (11)取・選 (12)針・棒

⑦類義語・対義語

1 (1)**イ** (2)**エ** (3)**ア** (4)**ア** (5)**ア** (6)**エ**
2 (1)向上 (2)故郷 (3)節約 (4)用意 (5)所有 (6)音信
3 (1)短 (2)精 (3)祖（故） (4)過 (5)危 (6)抽

解説
(2)「精進」は「しょうじん」と読み、「一生懸命努力する」という意味の他に、「仏道の修行をする」「身を清めて行いをつつしむ」という意味を持つ。

4 (1)**エ** (2)**ア** (3)**ア** (4)**ウ**
5 (1)応答 (2)短縮 (3)敗北 (4)複雑 (5)供給 (6)無効

⑧ことわざ・慣用句・故事成語

1 (1)**オ** (2)**ウ** (3)**ク** (4)**エ**
2 (1)**キ** (2)**カ** (3)**ア** (4)**ウ** (5)**オ** (6)**ク** (7)**イ** (8)**エ**
3 (1)腹・**エ** (2)歯・**カ** (3)手・**ク** (4)腕・**イ** (5)目・**ア** (6)舌・**オ**

解説
(1)「口を割る」も慣用句であるが、「白状する」という意味である。

4 (1)塩 (2)図

⑨敬語

1 (1)**イ** (2)**ウ・エ**

解説
その動作を行うのが相手であれば尊敬語、自分または身内（家族や同じ会社の人など）であれば謙譲語を用いる。

2 (1)①まいり ②いらっしゃい（来られ・お見えになり）
(2)①いただき ②おめしあがり（めしあがって）
(3)①拝見（拝見いた） ②ごらん（ごらんになって）
3 (1)話された (2)ご報告いたします (3)まいります
4 A**サ** B**エ** C**ク** D**カ** E**キ** F**イ**
5 (1)父母会には父がまいります。
(2)私の家に先生がいらっしゃる（おいでになる・お見えになる・来られる・おこしになる）そうです。

⑩文・文節・単語

1 (1)**ア** (2)**イ**
2 (1)**ア** (2)**ウ**
3 (1)いかにも／南国らしい／夜明けの／光景でした。
(2)早く／スキーが／できるように／なりたい。
(3)手紙は／もらう／ことだけが／楽しいのでは／なく、／書く／楽しみも／あります。
4 (1)彼／は／完全に／自分／の／使命／を／果たし／た。
(2)父／は／真剣な／顔／に／なり、／弟／の／方／に／向き直っ／た。
(3)いかに／苦しかろ／う／と、／最後／まで／やりぬく／しか／なかっ／た／の／です。

解説

(2)「向き直る」は一語の複合語（複合動詞）なので、「向き―直る」とは区切らない。

5 (1)文節…8　単語…13　(2)文節…4　単語…8　(3)文節…11　単語…20

⑪主語・述語・修飾語

1 (1)主語…雲が　述語…うかんでいる　(2)主語…ぼくたちは　述語…走った　(3)主語…横顔が　述語…見えた　(4)主語…門こそ　述語…山門です

解説　(1)の述語「うかんでいる」には補助動詞の「いる」が含まれている。「うかんで」の方に中心的な意味があるので、述語は「いる」ではなく「うかんでいる」になる。

2 (1)**ウ**　主語…ぼくは　述語…さびしかった　(2)**イ**　主語…風は　述語…強いようだ　(3)**ア**　主語…冬は　述語…寒い

3 (1)春の・やわらかい・明るく　(2)東の・しだいに・明るく

4 (1)**ウ**　(2)**エ**　(3)**コ**　(4)**ウ**

5 (1)鳴らした　(2)横たわっていた　(3)見ていたが

⑫単語の種類（品詞）／名詞・代名詞

1 (1)**ウ**　(2)**イ**　(3)**ウ**　(4)**エ**　(5)**イ**

解説　(3)「その」は名詞を修飾するので、「この・あの・どの」とともに連体詞。「これ・それ・あれ・どれ」は名詞、「こう・そう・ああ・どう」は副詞である。

2 (1)**エ**　(2)**カ**　(3)**イ**　(4)**ア**　(5)**カ**　(6)**オ**

3 (1)**ク**　(2)**ウ**　(3)**オ**　(4)**カ**

4 (1)丁　(2)頭　(3)通　(4)膳

5 (1)①楽しさ　②楽しみ　(2)①高み　②高さ

⑬動詞・形容詞・形容動詞

1 (1)行け　(2)静かな　(3)おいしく　(4)静かだっ　(5)行き

2 (1)**ア**　(2)**ア**

3 (1)①味わわ　②味わえ　③味わお　(2)①つらかろ　②つらく　③つらかっ

4 (1)①らぐ　②らげる　(2)①たし　②て　(3)①れれ　②し　(4)①え　②やそ

5 (1)**ア**　(2)**ウ**　(3)**ア**

解説　(1)**ア**は「成果な」と言いかえることができないので、形容動詞ではなく名詞＋助動詞「だ」。(2)**ウ**は「怒らぬ」と言いかえることができるので助動詞。他はき形容詞。(3)**ア**は連体詞、他は動詞。

⑭副詞／擬声語・擬態語

1 (1)しだいに・**ア**　(2)ぜひ・**ウ**　(3)かなり・**イ**　(4)たいへん・**イ**　(5)そう・**ア**　(6)ぼそぼそと・**ア**　(7)なぜ・**ウ**　(8)たぶん・**ウ**

2 (1)まい　(2)ても　(3)なかっ　(4)ないだろう　(5)ません　(6)ように

解説　「否定」の呼応の副詞には「決して・少しも（ちっとも）・必ずしも…ない」などが、「否定の推量」の呼応の副詞には「まさか・よもや…ないだろう（あるまい）」などがある。

3 (1)はくと　(2)転嫁する　(3)現れたので

4 (1)①**ウ**　②**ア**　③**イ**　(2)①**エ**　②**ウ**　③**イ**

⑮指示語・接続語

1 (1)そう・彼はまちがっている　(2)それ・見知らぬ大きな島

2 (1)（整然とした）理論　(2)オガクズとヌカをまぜて米のトギ汁でこねたもの

3 (1)**オ**　(2)**ア**　(3)**エ**　(4)**ウ**　(5)**カ**

4 (1)**エ・イ**　(2)**ウ・ア・イ・ア**

解説
指示語の指示内容は、前の部分にあることがほとんどである。指示内容が見つかったら、それを指示語と置きかえて意味が通じれば正しいと判断できる。

⑯助動詞

1 (1)ような (2)よう (3)させ (4)たがる
2 (1)**ア** (2)**ウ** (3)**ア** (4)**ウ**

解説
(3)例文と**ア**は推定、他の「らしい」は形容詞を作る接尾語。

3 (1)**イ** (2)**エ** (3)**ア** (4)**エ** (5)**イ** (6)**イ**

解説
(5)**イ**はたとえを、他は不確実な断定を表している。(6)**イ**は例示、他はたとえを表している。

⑰助詞

1 (1)**エ** (2)**ウ** (3)**イ** (4)**ア**
2 (1)**エ** (2)**ウ** (3)**ア** (4)**エ** (5)**イ** (6)**ア** (7)**ウ**

解説
(3)例文と**ア**は理由・原因、**イ**は材料・原料、**ウ**は場所を表し、**エ**は形容動詞「きれいだ」の変化した形の一部である。(4)例文と**エ**は動作の目的、**ア**は時間、**イ**は場所、**ウ**は対象を表している。

3 (1)**ウ** (2)**エ**

⑱語句の意味・用法（1）

1 (1)じごうじとく・**ア** (2)ごんごどうだん・**ウ** (3)ぼうじゃくぶじん・**イ** (4)がでんいんすい・**カ** (5)しりめつれつ・**オ** (6)いくどうおん・**エ**
2 (1)一朝一夕 (2)臨機応変 (3)一挙両得
3 (1)**エ** (2)**ウ**
4 (1)①**ア** ②**オ** ③**エ** ④**ウ** (2)①**ウ** ②**カ** ③**イ** ④**ア**
5 (1)**ウ** (2)**ウ**

⑲語句の意味・用法（2）

1 (1)花 (2)気 (3)虫 (4)息

解説
(2)「気がおけない」は心を許せないという意味ではない。

2 (1)利発 (2)少量 (3)上達 (4)能弁
3 (1)腕 (2)首 (3)鼻 (4)耳
4 (1)**カ** (2)**サ** (3)**ア** (4)**ク** (5)**ケ** (6)**イ** (7)**ウ** (8)**エ** (9)**コ**
5 (1)× (2)× (3)× (4)○ (5)○ (6)× (7)× (8)○

解説
(1)「呉越同舟」は敵同士やライバルが共通の目的のためにともに手を結ぶことを、(3)「付和雷同」はむやみに他人の意見に同調することを意味する。

⑳文学史の知識

1 (1)**イ** (2)**エ** (3)**コ** (4)**カ** (5)**ア** (6)**ク** (7)**ケ** (8)**オ** (9)**ウ**
2（**A群・B群**の順で）(1)**サ・コ** (2)**ウ・ク** (3)**シ・ア** (4)**ソ・オ** (5)**ス・イ** (6)**ケ・イ** (7)**コ・カ** (8)**キ・キ** (9)**エ・エ** (10)**カ・ケ** (11)**オ・サ** (12)**ク・イ**
3 (1)**ク** (2)**カ** (3)**キ** (4)**イ**

㉑推こう・原稿の直し方

1 (1)働くことだ (2)三人だった (3)作ることだ
2 (1)ふとんに入ったが、雨の音が気になって、なかなかねむることができなかった。
(2)見上げた空はどんよりとくもり、まるでぼくの心を表しているかのようだっ

た。

⑶毎年夏が来ると若葉をしげらせていたプラタナスは、いったいいつの間に姿を消したのだろう。

解説

⑶修飾語はなるべく被修飾語の近くに置く方が、意味を取り違えられることが少なくなる。

3 ⑴①ぼくは大声をあげて、にげる弟を追いかけた。
②ぼくは、大声をあげてにげる弟を追いかけた。
⑵①わたしたちは、昨日借りてきた本を読んだ。
②わたしたちは昨日、借りてきた本を読んだ。

4 ⑴強いチームが、必ずしも優勝するとはかぎらないだろう(いえないだろう)。
⑵山頂まで歩きどおしで、さぞつかれただろう。
⑶どうか弟の失礼を許してください。